

北播磨地域ビジョン 2050 概要



地域の皆さんの声を聴きながら、ともに目指したい2050年の北播磨の姿として「北播磨地域ビジョン2050」を令和4年3月に策定しました。将来像の実現に向け、5つの柱により取り組んでいきます。各柱の取組を通して実現しているであろう2050年の北播磨の生活シーンを日記として描いて「見える化」しています。

北播磨地域ビジョン2050



自然環境保全

🌿らめいて！ 自然の恵みが楽しめる豊かな暮らしを育てます

播州平野を貫流する加古川や疏水による田園風景や、山や川が育んできた自然の恵みを受け継ぎながら、自然と生命とが共生する環境を保全します

北播磨2050年のライフデザイン

～皆さんがデザインする北播磨2050年の生活シーンの日記 その一部をご紹介します～

● 世界が認める北播磨産の山田錦で醸した日本酒(「農」と「食」の魅力づくり)

お父さんがたまに飲んでいる日本酒って、北播磨で採れた酒米で作っているんだって。しかも最高級の日本酒ができることから、この酒米は世界で認められていて、ヤマダニシキという言葉は世界中で通じるんだ。

● 空中散歩で螢の乱舞観賞(自然環境の維持・保全)

今日は、北播磨地域ビジョン委員会の「北播磨の環境を考える6月1日」として自然環境保全活動日。私は、日頃からカワニナ等の生態系を観察しながら川ゴミ清掃をしてきたが、今晚はその成果を目の当たりにして最高の気分。人を運ぶドローンで空中散歩。眼下には螢が乱舞するファンタジーな自然がまはやく、生命の美しさを実感できた。この螢の舞を来年も見るために私の活動を続けたい。



目指す将来像

田園の恵みが生み出す

こちよい 未来の暮らし

～ひょうごのハートランド・北播磨～



歴史文化・観光

🏯た来たい！ 「オモシロイ」で集います

のどかな田園風景の中でのサイクリング、歴史文化資産の探訪、ドローンでの空中散歩が楽しめるなど、北播磨ならではの「オモシロイ」で人を惹きつける地域にします

北播磨2050年のライフデザイン

～皆さんがデザインする北播磨2050年の生活シーンの日記 その一部をご紹介します～

● 北播磨発～リアル水田生態系観察(仮称)ツアー～(北播磨らしい観光交流資源)

この水田の地下が水族館になっていて、見上げると透明なガラス越しに水田の底を観察できる。希少価値のある動植物がいっぱいいた。特にミクロの水中微生物の活発な動きは、拡大レンズ付きのガラスなので肉眼で観察でき、普段は見る事ができない光景だ。水田の生命力に接してみるとワクワクして、今から秋の実りが待ちきれない。

● まるごと北播磨のおもてなし(空き家等の活用)

北播磨の点在する古民家(空き家)を客室や、レストラン、カフェ、播州織雑貨店、農作業・地場産業体験施設、ビール醸造所、酒蔵などにリノベーションしたまちを、「北播磨の宿(しゅく)」と言うんだって。そこには、移動手段を手軽に乗り換えられるステーションがあるから、店から店をサイクリングしながらショッピングしたり、川で釣りをしたり、自動運転車などで気の向くままに巡ることができるよ。県外から大勢の人が来て北播磨を満喫しているんだって。



多世代交流・多文化共生

👨👩👦のしんで！ 世代と文化を越え、誰もが笑顔であふれます

年齢、人種、国籍を越えて、多様な人々が交流し、共に助け合い、支え合う、誰もが笑顔あふれる、ふるさとしてます

北播磨2050年のライフデザイン

～皆さんがデザインする北播磨2050年の生活シーンの日記 その一部をご紹介します～

● 100歳までの生きがい(高齢者福祉・医療の充実)

自宅のトイレでAI(人工知能)でいつでも健康チェックをしているので、病気の早期発見、早期治療ができる。それに、体力的な衰えはアシストスーツでサポートされているから、100歳まで健康長寿を全うできそう。私のような心身共に元気な高齢者が増えていくから、高齢者が若者世帯の暮らし(保育園のお迎え等)を支える「おたすけシニア」としての仕事が楽しく、若者から喜ばれることで生きがいになっている。

● 放課後は空き教室で語学学習(多文化共生(異文化交流・理解))

今日は外国村が開く日だったんだ。小学校の空き教室が、放課後は外国村になるんだ。ベトナム村、中国村、ブラジル村、日本村、いろいろあって楽しいよ。そこでは、その村の言葉しか使えないんだ。おかげで、いろんな言葉を覚えられるよ。お祭りの日は、体育館や運動場でみんなが集まるんだ。どこの国の人もみんな仲良しだよ。



地域・生活

🏠つらつと！ 「べっちょない精神」でつながります

「べっちょない」(「べっちょない」は大丈夫！という方言です)で支え合う絆をつむぎ、自分らしい生き方・働き方・暮らし方・学び方にチャレンジできる地域にします

北播磨2050年のライフデザイン

～皆さんがデザインする北播磨2050年の生活シーンの日記 その一部をご紹介します～

● 夢は地元の人たちと地域をもっと元気に(若者のフロンティアの創出)

私は高校時代、特産のもち麦を地元企業と連携して商品化した大きな自信になった。大学進学後、このもち麦を海外の人に知ってもらうために、世界の人の口に合う味をデータ化して、健康食として海外への発信も試してみた。大学卒業後は、高校の同級生と地元で食品関係の起業をしたいな。外国の方、障害をもった方、多くの方と一緒に仕事をしたい。環境に配慮し、規格外の農産物を加工商品にして農家の応援もしたいな。夢はどんどん広がっていく。ここから世界に発信し多くの人に注目される会社にしたいな。

● 地域住民でワンコインの助け合い(地域の絆の醸成)

昔は車がないと買物に行くのもひと苦労だったけど、ワンコインで買物代行から送迎や小さな困りごとまで解決できてとても便利。なんたって、近所に住んでいる住民同士で助け合っている。自分ができるときにはちょっとした小遣い稼ぎにもなる。「お助けアプリ」を使って気楽に依頼できるし、アプリが適切に依頼を振り分けてくれるからトラブルも起きない。助け合いした者同士で仲良くなって新しい友達もできた!



産業・雇用

🏭ードする！ 産業の未来を切り拓きます

北播磨の宝である地場産業を元気にし、最先端技術を使った新しい産業や新しい農業の萌芽の場にします

北播磨2050年のライフデザイン

～皆さんがデザインする北播磨2050年の生活シーンの日記 その一部をご紹介します～

● 地場産業の聖地(地場産業の活性化)

今日は、神鉄・JR加古川線が連携した自動運転「北播磨GoGoトレイン」に乗って『5月3日北播磨地場産業祭』に行った。とてもオモシロかった。小野市の播州そろばんを盛り上げる「そろばん脳トレ100歳大会」では100歳までの高齢者がパチパチとそろばんで計算していて驚いた!三木市は「流行アニメの刀づくり聖地三木」なんだって。西脇市の「太陽光発電を織り込む生地で光を放つ播州織テキスタイル」でアニメの光る衣装を自分用に作ったりしてとても気に入った。おまけに加古川の闘竜灘川グリ公園では、魚型水中ドローンを操作して、魚の群れに加東市特産の釣り針をたらず、鮎釣りまで楽しめた。北播磨の地場産業でリアルに楽しめた1日だった。

● 北播磨がリードする未来...くらし(テクノロジーの活用)

今日は、北播磨の広大な土地と空間を生かした「人を運ぶ空飛ぶクルマ」の実証実験が行われると聞いたので見に来た。実際に来てみて驚いたことは、この地域の水道の蛇口は、AI(人工知能)搭載のドリンクサーバーになっていた。コックをひねったら私の生体情報に最適化した北播磨の新鮮野菜ジュースや季節の果物ジュースなどを、ブレンドして出してくれる!ほんとうに驚いた。



北播磨地域ビジョン 2050 概要



第1章 新地域ビジョン策定の趣旨

現行の全県ビジョンである「21世紀兵庫長期ビジョン」の策定から20年が経過し、社会潮流など本県を取り巻く環境も大きく変化していることから、2050年を展望した「新しい全県ビジョン」を策定することになりました。北播磨地域においても、“2050年の北播磨の姿”を描く「北播磨地域ビジョン2050」を地域の皆さんの意見を踏まえて策定することとしました。

〈北播磨地域ビジョンの策定経緯〉

2001 (H13)年2月 北播磨地域ビジョン
2011 (H23)年11月 北播磨地域ビジョン2020

目指すべき地域の姿『ひょうごのハートランド』

地域住民のハート及び兵庫県のハートにあたることを生かした、よりよい地域への願い

〈社会潮流〉

人口減少・超高齢化、自然の脅威、テクノロジーの進化、世界の成長と一体化、経済構造の変容、価値観と行動の変化

第2章 北播磨地域の現状(主な特性を抜粋)

地勢 気候 ・県のほぼ中心 総面積約896km ² 全県の10.7% ・県下最大「加古川」 中心に播州平野が 広がる美しくのど かな田園風景 ・温暖な気候により 県下有数の水田地 帯	人口 ・全県人口の4.8%で 約26万4千人が居住 ・15～29歳の転出超 過が進むなど人口 が減少 ・一方、在留外国人 口は直近5年で倍 増、約7,000人が居 住	自然環境 ・希少動植物が生息 する“あびき湿 原”や天然林、公 園等自然が豊か ・一方、不法投棄通 報件数が多いため 自治会とパトロー ル強化	「農」と「食」 ・酒米山田錦、黒田 庄和牛、播州百日 どりなどの特産品 ・新たな産地ブラ ンド高付加価値の 「プラチナぶどう」 新品種の黒枝豆 「ひかり姫」、兵庫 県オリジナルいち ご「あまクイーン・ 紅クイーン」など	防災 防犯 ・地球温暖化に伴う 風水害の激甚化や 南海トラフ地震を 懸念 ・自主防災組織、消防 団や、水田の貯水 機能が災害時に力 を発揮 ・SNS等を使った犯罪 が多様化	交通インフラ ・大阪等の都市部か ら車で約1時間 ・東西南北高速道 路網の結節点 ・一方、JR加古川 線、神戸電鉄粟 生線、北条鉄道 の利用者減少傾 向
少子高齢化 医療 ・65歳以上の高齢 化率32.8%(R3.2.1) 全県を上回る ・要介護認定者数が 大幅に増加 ・合計特殊出生率は 1.52(H27)	地域の絆 多世代交流 ・住民、高校生、行政が連 携し、交流、賑わいづく りなどの様々な地域活動 を展開 ・高齢化率40%以上かつ 世帯数50戸以下の小規 模集落が34集落(R元.9) ・今後、外国人住民との相 互理解等、協力が必要	子育て環境 ふるさと意識の醸成 教育 ・令和2年度の県民意識調査「心の 豊かさを育む教育や活動が行われ ていると思う」は全県で1位、 「子育てしやすいと思う」は全県 で5位 ・兵庫教育大学、県立教育研修所、 県立嬉野台生涯教育センター等、 兵庫の教育研究推進地	産業 雇用 ・製造業が集積 ・企業立地件数 59件(H28～R2) 全県の23% ・播州織、利器工 匠具・刃物、そ ばん、釣針など地 場産業が発展	歴史文化 観光 ・国宝建造物や伝統 文化の杉原紙、鶴野 飛行場跡など ・フットバス・サイクリングに 最適な地域 ・サイクルポイントの拠点と してBMXレース 等の自転車競技場 整備も予定	

整理

整理

第3章 北播磨の将来に対する地域の皆さんの思い

《主な意見を抜粋》

- ◇自然環境保全
 - ・京阪神ではコンクリートにアスファルト、点々と緑地。北播磨ではすぐ水田を目にし、初夏は緑の絨毯で彩る。食糧と防災のため水田を減らしてはいけない
- ◇多世代交流・多文化共生
 - ・子ども達のやりたいことが実現でき、地域の大人から学ぶ機会をつくる
 - ・多様な人にとって暮らしやすい共生社会を実現するには多様な人を受入れる意識改革が必要
- ◇地域・生活
 - ・若者の挑戦の芽を摘むことなく挑戦して失敗を許容し挑戦し続けられる地域であれば誇りになる
 - ・皆が幸せを感じられるような、「おかえり」といってもらえるような温かな場所
- ◇産業・雇用
 - ・空と陸をつなぐハブ機能(活動の拠点)による巨大物流ネットワークを構築し、新鮮野菜の流通の仕組みなどをつくり産業都市を展開する
 - ・アイデアがビジネスにつながる環境や、また地域貢献や新たな経験を目的に副業を始めるための、スタートアップ集積地へと展開する
- ◇歴史文化・観光
 - ・5市1町に点在する歴史的資源を、平和教育、環境教育、歴史教育、社会教育等に生かすため、各市町一体で資源の可視化等に取組み継承する

第4章 地域の方向性

持続可能な開発目標(SDGs)の理念を基に情報通信インフラの発達をはじめとして想定される近未来のデジタル化社会等を見据え誰も取り残さない社会を実現します

自然環境保全

- 自然環境(田園風景)の維持・保全
- 「農」と「食」の魅力づくり
- 防災・防犯意識の向上
- 交通インフラの維持・整備

き らめいて!

自然の恵みが楽しめる豊かな暮らしを育てます

多世代交流 多文化共生

- 子育てしやすい環境の整備
- 多世代交流・多文化共生
(異文化交流・理解、外国人の活躍・協働)
- 高齢者福祉・医療の充実
- 子ども世代のふるさと意識の醸成・教育

た のしんで!

世代と文化を越え、誰もが笑顔であふれます

地域・生活

- 新たな働き方、若者のフロンティアの創出
- 地域の絆の醸成
- 生活利便性の向上
- 移住・定住の促進

は つらつと!

「べっちょない精神」でつながります

産業・雇用

- テクノロジーの活用
- 地場産業の活性化
- 新しい産業・雇用の創出
- 起業・副業の促進

リ ードする!

産業の未来を切り拓きます

歴史文化 観光

- 北播磨らしい観光交流資源
- 歴史文化資源の継承
- 空き家等の活用
- 観光モデルコースの設定

ま た来たい!

「オモシロイ」で集います

田園の恵みが生み出す「こごちよい」未来の暮らし

「ひょうごのハートランド・北播磨」